



ブラインドフットボールチーム

スフィーダ世田谷 BFC の創設について

NPO法人スフィーダは、このほどスフィーダ世田谷ブラインドフットボールチーム(略称スフィーダ世田谷 BFC) を新たに創設いたしました。

今年は、スフィーダ世田谷 FC 創設後 20 年の節目となります。2001 年にプレーをする場所がなかった地域の女子中学生の受け皿として誕生した市民クラブであるスフィーダ世田谷 FC は、創立 20 年目にトップチームがなでしこリーグ 1 部で優勝を争うまでに成長しました。

<スフィーダの新たな挑戦！>

スフィーダ (SFIDA: イタリア語の挑戦) という言葉を冠した私たちのクラブは、スポーツを続けたい、そこで高みを目指して頑張ろうとする女性を応援していくことを基本的な理念として、以下の 3 つのミッションを掲げています。

- Mission 01 都会におまつりのにぎわいを創り出す
- 02 地域が一つになれる夢の実現を目指す
- 03 地域における多様性社会をけん引する

スフィーダは、これまで女子サッカーのトップチームから U-13 までの各レベルでトップレベルに挑戦すると同時に、生涯スポーツ及び地域におけるスポーツの普及活動として U-12 のスクール、ママさんチーム、ウォーキング・サッカーの普及活動そしてロービジョン・フットサルチームへの支援等を行い、さらにスフィーダ世田谷カップの開催や地域イベントへの協力を行ってきました。



- ・ 6月19日にブラインドフットボールチームのメンバーが駒沢でブラインドサッカー体験会を行いました。コロナ禍で練習ができない中、まずはブラインドサッカー®の普及活動からスタートしました。

- ・ 本活動は 2020 年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラムの助成を受けています。



<多様性を包摂するゲーム：ブラインドサッカー>

ブラインドサッカーは、視覚障害者と晴眼者が同じチームメンバーとしてプレーすることで成立する競技であり、そのルール自体が社会的包摂を具現しています。パラリンピック競技として採用されていますが、まだ男子に限られています。今後パラリンピック競技として継続して採用され続けるためには、男女がともに参加できる競技であることが求められており、競技の普及による女子プレーヤーの拡大、そして女子チームの創設が期待されています。

<日本初の女性のみブラインドサッカーチームを見据えて>

スフィードの旗の下に、これに挑戦したいという仲間が集まり、多様性社会をけん引する活動のひとつとして、まずは男女混合のブラインドサッカーチームを立ち上げます。最初の目標として、2022 年度秋からのブラインドサッカー東日本リーグへの男女混合チームでの参入を目指して、チーム活動を開始します。

そして、その先には世界でもまだ数えるほどの例しかない、日本初の女子ブラインドサッカーチームの創設も、スフィードとしては視野に入れていきます。

<一緒に活動する仲間を求めています>

<当面の活動はチームづくり・普及・育成・地域社会活動です>

この新たなチームは、スタート時点で選手 11 名を含む総勢 21 名のメンバーでスタートします。練習は日曜日を中心とした休日に、世田谷・中野・目黒・杉並を中心とした学校のグラウンドで行います。また、2021 年度は視覚障害者そして多様性のある社会に対する子供たちの理解促進を目的として、ブラインドサッカーの初心者向けの体験会や、メンバーによる子供たちへの絵本読みかせ活動を行います。メンバーには視覚障害者の女性アスリート、晴眼者のプレーヤー、運営スタッフ、地域社会活動の支援者等が含まれていますが、まだまだ仲間が必要です。是非プレーヤーとして、運営支援スタッフとして、練習支援スタッフとしてそして応援をしてくださる仲間として、興味のある方々の活動への参加を期待しています。

みなさんのご支援・応援をよろしくお願いいたします。

2021 年 6 月 吉日

【お問い合わせ】

Mail: sfida.bfc@gmail.com 担当： 張・鈴木

Facebook Page: <https://www.facebook.com/WomensBFCest>

- 本活動は 2020 年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラムの助成を受けています。